



2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022年8月9日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

目次

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

※本資料は2022年8月10日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

業績ハイライト

23年3月期 第1四半期決算（前年同期比）

単位：億円	22/3月期 1Q (a)	23/3月期 1Q (a)	比較増減
営業利益	34	98	+64
経常利益	104	226	+121
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	156	+85

- **営業利益** : 原油・天然ガス販売価格の上昇などにより増益
- **経常利益** : 持分法投資利益や為替差益の増加

23年3月期 業績予想修正（5/13公表予想比）

単位：億円	5/13公表予想 (f)	8/9公表予想 (f)	比較増減
営業利益	209	397	+187
経常利益	287	509	+222
親会社株主に帰属する当期純利益	255	400	+144

- **営業利益** : 2Q以降の前提油価の引き上げなどにより、原油、天然ガス、電力販売の収支上振れを見込む
- **経常利益** : 持分法投資利益や為替差益の増加を見込む

株主還元

- 1株当たりの配当予想を 年間220円に修正（中間110円+期末110円） ※ 連結配当性向 30%に基づく修正

I. 業績ハイライト

II. 2023年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2023年3月期 業績予想の概要

決算概要【前年同期比】

単位：百万円	22/3月期 1Q (a)	23/3月期 1Q (a)	増減	
売上高	50,083	58,617	+8,533	+17%
売上総利益	11,179	16,696	+5,517	+49%
営業利益	3,400	9,810	+6,410	+189%
経常利益	10,491	22,600	+12,108	+115%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,106	15,640	+8,533	+120%

原油価格・為替・販売価格の実績

		22/3月期 1Q (a)	23/3月期 1Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	58.10	94.41	+36.31
原油CIF(JCC)	USD/bbl	64.25	101.55	+37.30
為替	円/USD	108.43	122.50	+14.07

E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 1Q (a)		23/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	16,796	-	7,266	-	-	△ 9,530	△57%
(内訳)									
原油	千KL	114	5,556	79	7,251	△35	△31%	+1,695	+31%
- 国産原油		85	3,927	67	5,640	△18	△22%	① +1,712	+44%
- 海外原油*1		22	1,312	7	1,192	△15	△69%	△119	△9%
- 買入原油		6	316	5	418	△1	△24%	+102	+32%
希釈ビチューメン*2		351	10,058	-	-	② △351	-	△10,058	-
天然ガス・海外販売*3	百万M3	128	1,181	0	14	③ △127	△99%	△1,167	△99%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ③カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期1Qは海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期1Qは株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 1Q (a)		23/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	23,009	-	36,009	-	-	+12,999	+56%

(内訳)

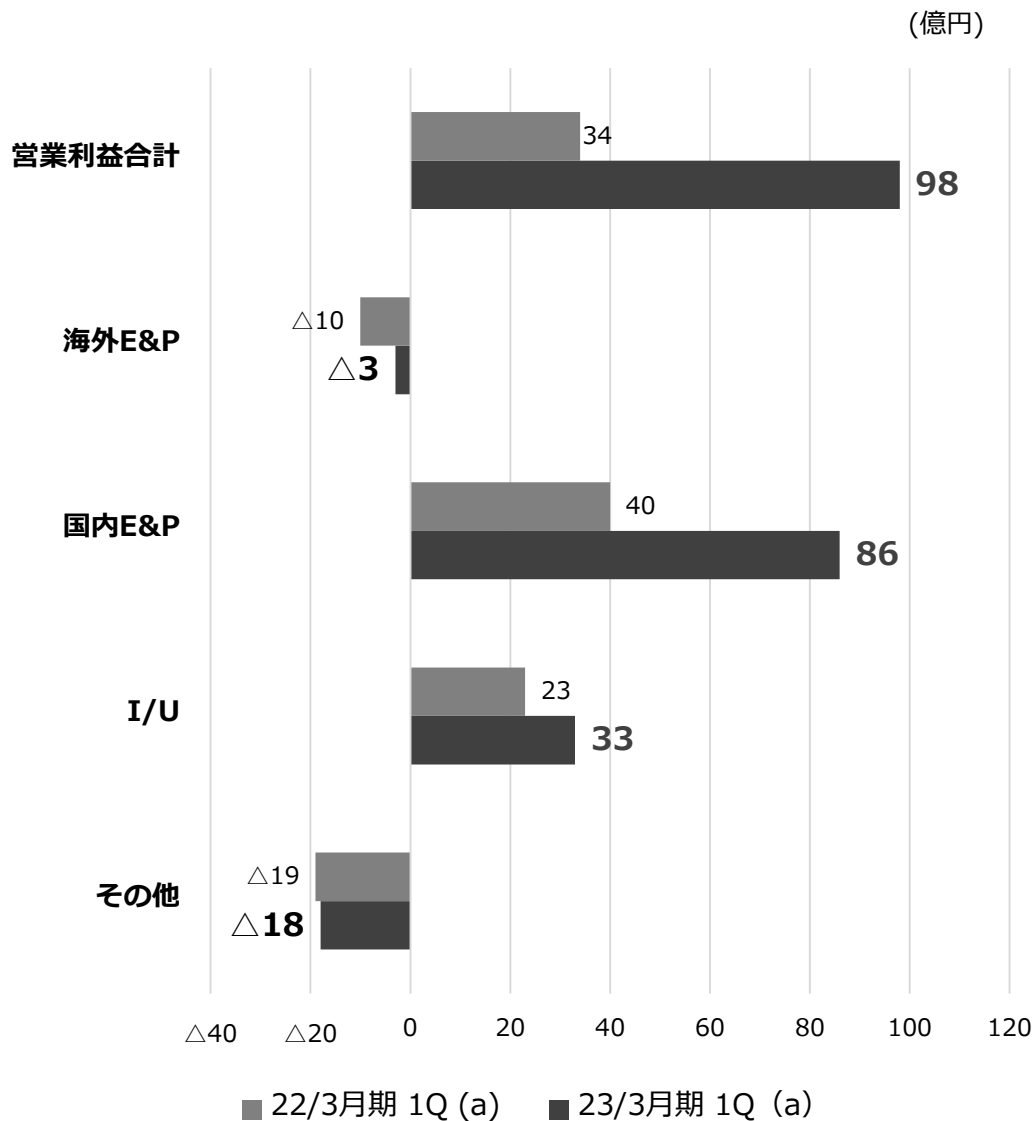
天然ガス・国内販売	百万M3	233	10,709	231	17,923	△1	△1%	① +7,213	+67%
- 国産天然ガス		123	-	109	-	△13	△11%	-	-
液化天然ガス	千トン	52	4,397	49	6,062	△3	△6%	② +1,664	+38%
電力	百万kWh	765	7,163	665	10,986	△99	△13%	③ +3,822	+53%
その他*	-	-	739	-	1,037	-	-	+298	+40%

主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【前年同期比】



E&P事業

(海外) : +7億円 (△10億円 → △3億円)

(国内) : +46億円 (40億円 → 86億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇
- JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

+9億円 (23億円 → 33億円)

- LNG調達差益の増加など

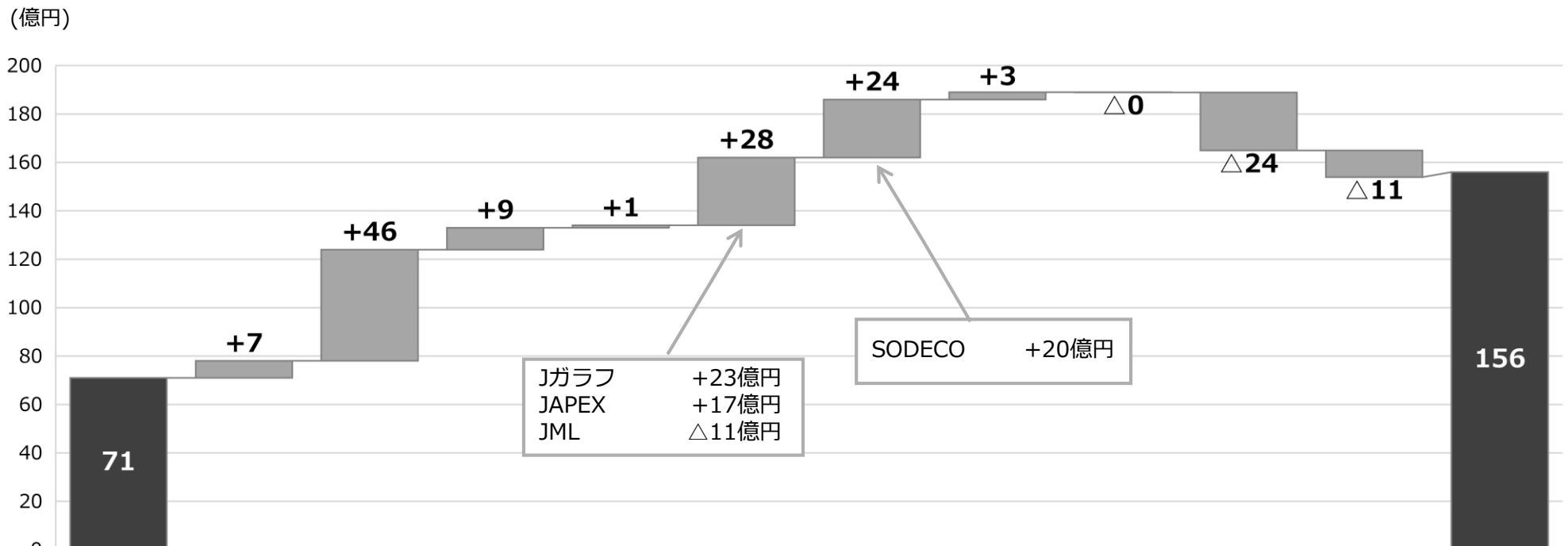
その他※

+1億円 (△19億円 → △18億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +64億円					営業外損益 +56億円					純利益
-----	-------------	--	--	--	--	-------------	--	--	--	--	-----

	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	23/3月期 1Q (a)
22/3月期 1Q (a)	△10	40	23	△19	38	35	△3	△0	28	5	71
23/3月期 1Q (a)	△3	86	33	△18	67	59	0	△0	53	16	156

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

-
- I. 業績ハイライト
 - II. 2023年3月期 第1四半期決算の概要
 - III. 2023年3月期 業績予想の概要**

業績予想修正【5.13公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 5.13公表	今回予想 (f) 8.9公表	増減	
売上高	244,344	275,755	+31,411	+13%
売上総利益	50,354	69,575	+19,220	+38%
営業利益	20,916	39,705	+18,789	+90%
経常利益	28,758	50,988	+22,229	+77%
親会社株主に帰属する当期純利益	25,590	40,007	+14,417	+56%

原油価格・為替の前提

		前回予想 (f) 5.13公表	今回予想 (f) 8.9公表	増減
WTI	USD/bbl	73.75	97.05	+23.30
原油CIF(JCC)	USD/bbl	70.00	95.64	+25.64
為替	円/USD	110.00	120.75	+10.75

E&P事業 販売予想修正【5.13公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.13公表		今回予想 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	57,557	-	52,241	-	-	△ 5,316	△9%

(内訳)

原油	千KL	1,195	57,376	697	51,981	△498	△42%	△5,395	△9%
- 国産原油		239	11,855	242	18,378	+3	+1%	① +6,522	+55%
- 海外原油*1		935	44,461	432	31,869	② △503	△54%	△12,591	△28%
- 買入原油		21	1,060	23	1,733	+2	+10%	+672	+63%
希釈ビチューメン*2		-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス・海外販売*3	百万M3	15	181	12	260	△3	△21%	+79	+44%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売量の減少（原油価格上昇にともない原油割り当て数量の減少を見込む）

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【5.13公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.13公表		今回予想 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	129,922	-	163,388	-	-	+33,465	+26%

(内訳)

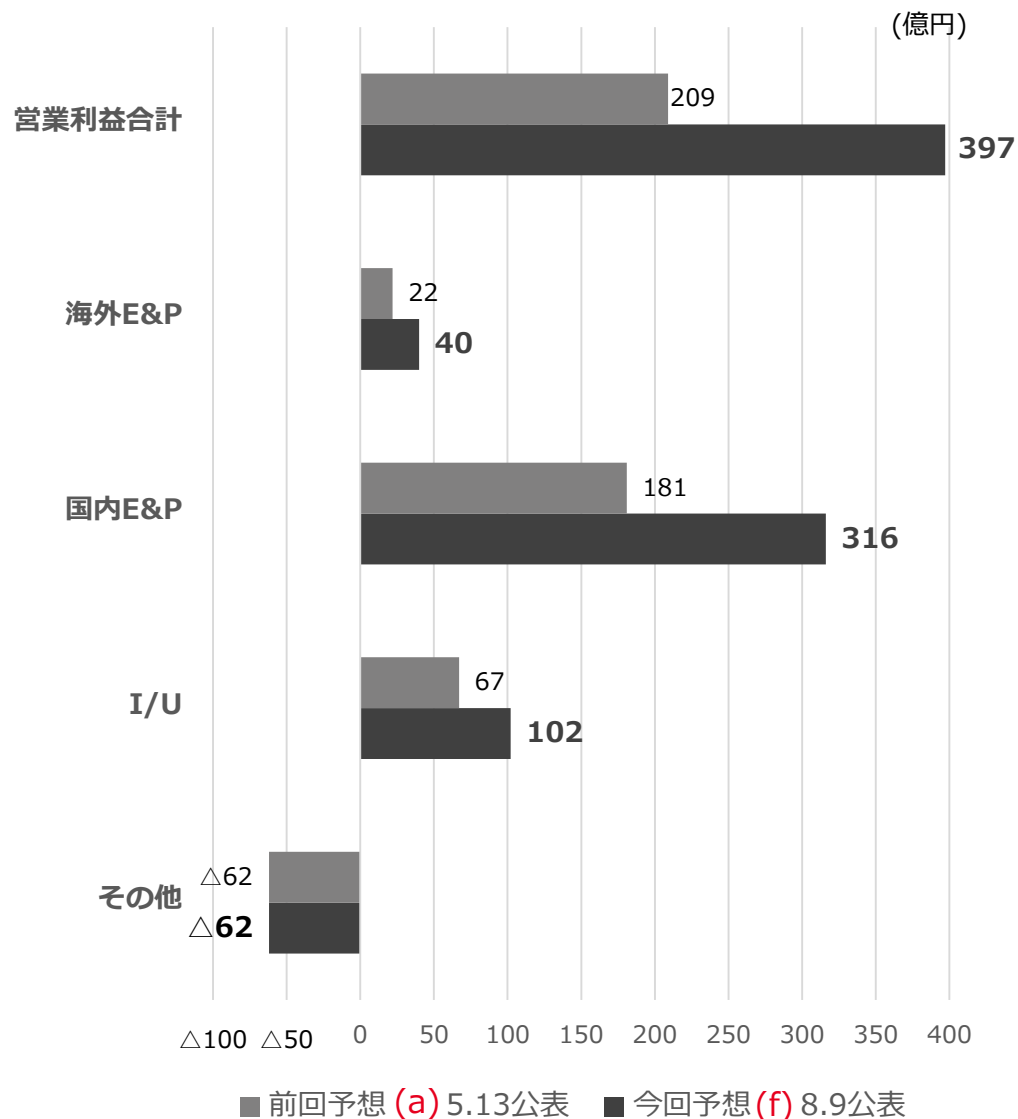
天然ガス・国内販売	百万M3	1,018	63,444	1,008	77,744	△9	△1%	① +14,300	+23%
- 国産天然ガス		488	-	483	-	△4	△1%	-	-
液化天然ガス	千トン	363	27,712	358	35,729	△5	△2%	② +8,016	+29%
電力	百万kWh	2,842	33,278	2,900	44,664	+58	+2%	③ +11,386	+34%
その他*	-	-	5,487	-	5,249	-	-	△237	△4%

主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【5.13公表予想比】



E&P事業

(海外) : +17億円 (22億円 → 40億円)

- 原油価格上昇によるアメリカタイトオイルの販売の収支上振れ

(国内) : +134億円 (181億円 → 316億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇
- JLC上昇による国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+35億円 (67億円 → 102億円)

- LNG調達差益の増加
- 電力卸価格 (JEPX) の上昇

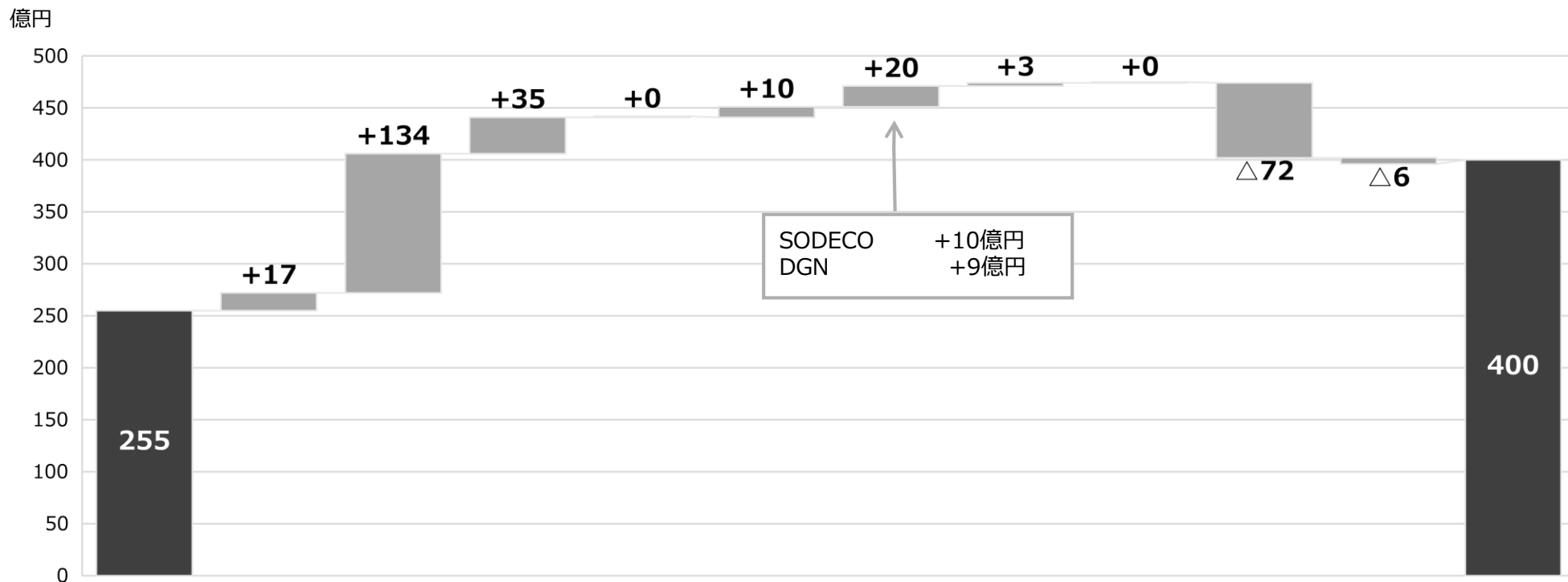
その他*

+0億円 (△62億円 → △62億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【5.13公表予想比】



純利益	営業利益* +187億円					営業外損益 +34億円					純利益
前回予想(f) 5.13公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 8.9公表
前回予想(f) 5.13公表	22	181	67	△62	-	49	28	△0	25	5	
今回予想(f) 8.9公表	40	316	102	△62	10	70	32	△0	98	11	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

業績予想【前期比】

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 8.9公表	増減	
売上高	249,140	275,755	+26,614	+11%
売上総利益	49,903	69,575	+19,672	+39%
営業利益	19,809	39,705	+19,896	+100%
経常利益	43,674	50,988	+7,314	+17%
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△)	△30,988	40,007	+70,996	-

原油価格・為替の前提

		22/3月期 (a)	23/3月期 (f) 8.9公表	増減
WTI *	USD/bbl	64.06	97.05	+32.99
原油CIF(JCC)	USD/bbl	73.28	95.64	+22.36
為替	円/USD	111.20	120.75	+9.55

* 22/3月期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ビチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

E&P事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	73,422	-	52,241	-	-	△ 21,181	△29%

(内訳)

原油	千KL	669	41,056	697	51,981	+27	+4%	+10,924	+27%
- 国産原油		286	15,570	242	18,378	△44	△15%	① +2,808	+18%
- 海外原油*1		357	24,105	432	31,869	② +74	+21%	+7,764	+32%
- 買入原油		25	1,381	23	1,733	△2	△9%	+351	+25%
希釈ビチューメン*2		959	31,121	-	-	③ △959	-	△31,121	-
天然ガス・海外販売*3	百万M3	130	1,244	12	260	④ △117	△91%	△983	△79%

主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②アメリカ タイトオイル販売量の増加および販売価格の上昇
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクトへの参画終了による販売量の剥落
- ④カナダ・シェールガスプロジェクトへの参画終了による販売量の減少

*1 22/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney LtdおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	22/3月期 (a)		23/3月期 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	119,845	-	163,388	-	-	+43,543	+36%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,061	58,024	1,008	77,744	△52	△5%	① +19,719	+34%
- 国産天然ガス		527	-	483	-	△43	△8%	-	-
液化天然ガス	千トン	295	22,596	358	35,729	② +62	+21%	+13,133	+58%
電力	百万kWh	3,023	34,320	2,900	44,664	△122	△4%	③ +10,343	+30%
その他*	-	-	4,903	-	5,249	-	-	+346	+7%

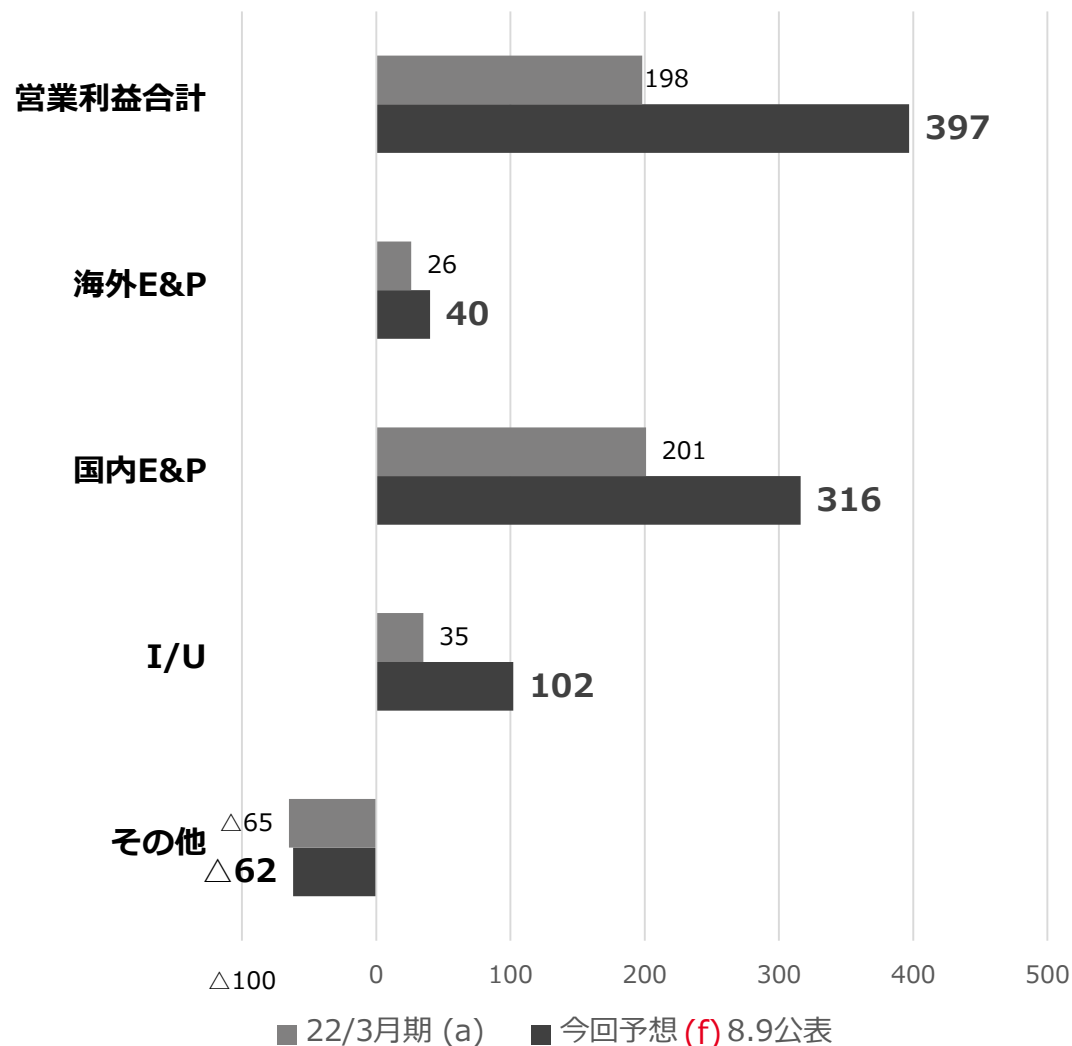
主な増減要因

- ①-②JLC価格上昇による国内ガスおよびLNG販売価格の上昇、LNG販売量の増加
- ③販売価格の上昇

* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

業績予想 営業利益概要【前期比】

(億円)



E&P事業

(海外) : +13億円 (26億円 → 40億円)

- アメリカ タイトオイルの販売量増加 (+)
- 前期希釈ビチューメン販売量の剥落 (-)

(国内) : +114億円 (201億円 → 316億円)

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇
- JLC上昇に伴う国産天然ガス販売価格*上昇

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

+67億円 (35億円 → 102億円)

- 前期の一過性要因 (LNG調達先のトラブルによる代替スポット調達によるコスト増加) の剥落

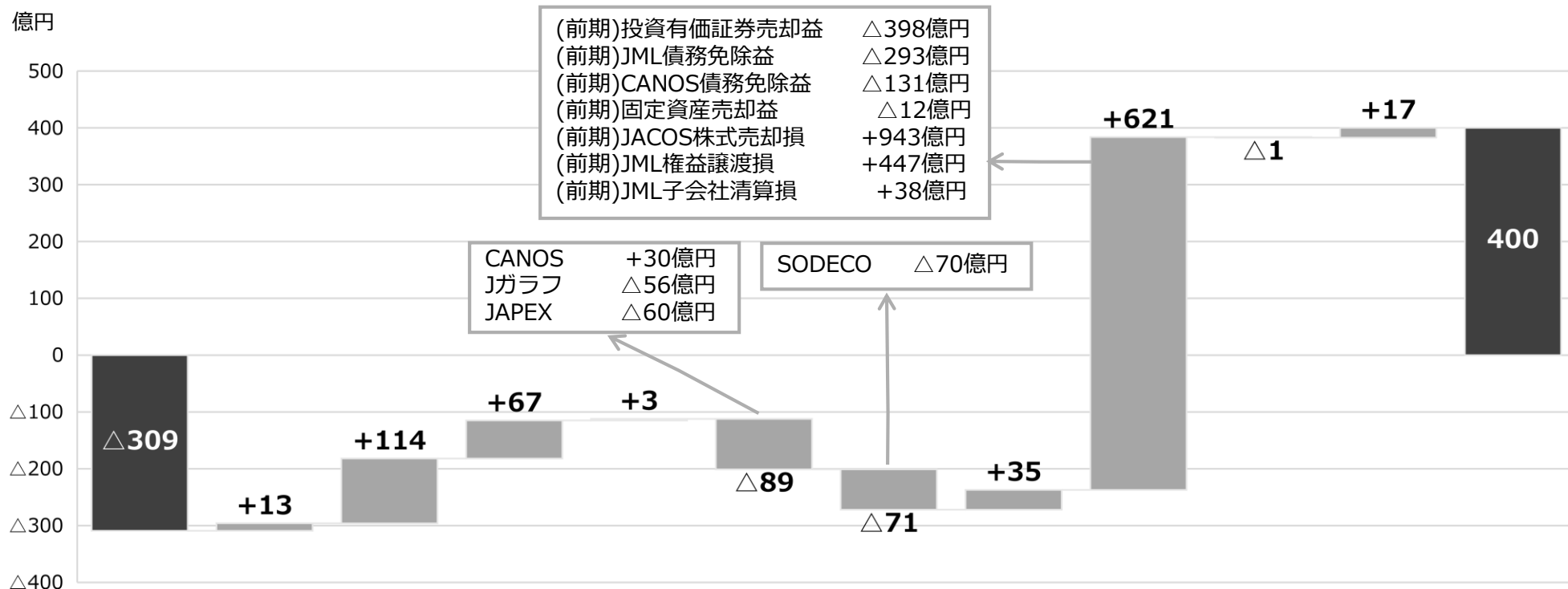
その他*

+3億円 (△65億円 → △62億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* +198億円					営業外損益 △125億円					純利益
22年3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 8.9公表
22年3月期 (a)	26	201	35	△65	100	142	△3	△621	96	28	
今回予想(f) 8.9公表	40	316	102	△62	10	70	32	△0	98	11	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	22/3月期 (a)	23/3月期 (f)	
	通期	通期	
		5.13公表	8.9公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,052	83,148	81,582
減価償却費	17,721	13,649	13,262
生産物回収勘定の回収	17,780	36,363	21,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,067	△58,080	△60,870
有形固定資産の取得による支出	△16,278	△33,274	△42,069
生産物回収勘定の支出	△23,244	△35,933	△33,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,939	△9,811	△12,069
現金及び現金同等物の期末残高	144,513	159,769	153,156

有利子負債*1	6,156	10,457	10,457
EBITDA*2	57,391	44,022	65,723
EBITDA有利子負債倍率（倍）	0.1	0.2	0.1

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務の合計額

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2023年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

1. 売上高内訳：①E&P事業

金額：百万円	22/3月期 (a)		23/3月期		
	1Q	通期	1Q	通期(f)	
				5.13公表	8.9公表
売上高	16,796	73,422	7,266	57,557	52,241
原油販売量 (千KL)	114	669	79	1,195	697
原油売上高	5,556	41,056	7,251	57,376	51,981
国産原油販売量 (千KL)	85	286	67	239	242
国産原油売上高	3,927	15,570	5,640	11,855	18,378
海外原油販売量 (千KL) *1	22	357	7	935	432
海外原油売上高	1,312	24,105	1,192	44,461	31,869
買入原油販売量 (千KL)	6	25	5	21	23
買入原油売上高	316	1,381	418	1,060	1,733
希釈ビチューメン販売量 (千KL)	351	959	-	-	-
希釈ビチューメン売上高*2	10,058	31,121	-	-	-
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	128	130	0	15	12
天然ガス海外売上高	1,181	1,244	14	181	260
WTI (USD/bbl)	58.10	64.06	94.41	73.75	97.05
原油CIF (USD/bbl) *4	64.25	73.28	101.55	70.00	95.64
為替 (円/USD) *4	108.43	111.20	122.50	110.00	120.75
希釈ビチューメン*2 (USD/bbl)	40.99	46.90	-	-	-
JML天然ガス*5 (CAD/mcf)	2.96	2.96	-	-	-

*1 22/3月期は海外連結子会社株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値、23/3月期は株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後

*3 22/3月期は海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値、23/3月期はJapex (U.S.) Corp. の数値

*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤリティ控除後)

1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

金額：百万円	22/3月期 (a)		23/3月期		
	1Q	通期	1Q	通期(f)	
				5.13公表	8.9公表
売上高	23,009	119,845	36,009	129,922	163,388
天然ガス国内販売量 (百万M3)	233	1,061	231	1,018	1,008
天然ガス国内売上高	10,709	58,024	17,923	63,444	77,744
国産天然ガス販売量 (百万M3)	123	527	109	488	483
液化天然ガス販売量 (千トン)	52	295	49	363	358
液化天然ガス売上高	4,397	22,596	6,062	27,712	35,729
電力販売量 (百万kWh)	765	3,023	665	2,842	2,900
電力売上高	7,163	34,320	10,986	33,278	44,664
その他*	739	4,903	1,037	5,487	5,249

* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

単位：百万円	22/3月期 (a)		23/3月期		
	1Q	通期	1Q	通期(f)	
				5.13公表	8.9公表
売上高	50,083	249,140	58,617	244,344	275,755
E&P事業	16,796	73,422	7,266	57,557	52,241
インフラ・ユーティリティ事業	23,009	119,845	36,009	129,922	163,388
その他	10,277	55,872	15,341	56,863	60,126
売上原価	38,904	199,237	41,920	193,989	206,180
売上総利益	11,179	49,903	16,696	50,354	69,575
探鉱費	132	359	97	1,604	1,375
販管費	7,647	29,734	6,788	27,833	28,494
営業利益	3,400	19,809	9,810	20,916	39,705
営業外損益	7,091	23,864	12,789	7,842	11,283
受取利息	37	266	149	310	702
支払利息	△ 322	△ 1,187	△ 1	△ 8	△ 6
受取配当	48	4,049	47	3,022	3,173
持分損益	3,549	14,226	5,988	4,986	7,046
海投損繰入・戻入	92	66	-	△ 10	△ 83
為替差損益	3,851	10,002	6,748	-	1,024
その他	△ 165	△ 3,559	△ 142	△ 459	△ 572
経常利益	10,491	43,674	22,600	28,758	50,988
特別損益	△ 1	△ 62,175	△ 1	△ 67	△ 54
税金等調整前当期純利益	10,489	△ 18,501	22,598	28,691	50,934
法人税等	2,832	9,652	5,304	2,599	9,817
非支配株主に帰属する当期純利益	550	2,835	1,653	501	1,108
親会社株主に帰属する当期純利益	7,106	△ 30,988	15,640	25,590	40,007

3. セグメント損益

単位：百万円		22/3月期 (a)		23/3月期		
		1Q	通期	1Q	通期(f)	
					5.13公表	8.9公表
日本	営業利益	6,122	24,739	11,472	27,004	43,812
	持分法投資利益	19	△ 47	291	381	363
北米	営業利益	△ 1,146	1,789	227	2,722	4,181
	持分法投資利益	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 47	△ 151	△ 33	△ 204	△ 195
	持分法投資利益	-	-	-	-	-
中東	営業利益	537	2,644	522	986	1,978
	持分法投資利益	△ 3	△ 13	△ 3	△ 25	△ 27
その他 ^{*1}	営業利益	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	3,534	14,287	5,699	4,631	6,710
調整額 ^{*2}		△ 2,066	△ 9,213	△ 2,378	△ 9,592	△ 10,070
連結損益算書計上額 ^{*3} 営業利益		3,400	19,809	9,810	20,916	39,705

*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			（上段）2021年1月～2022年3月					通期
			（下段）2022年1月～2023年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
WTI ^{*2}	USD/bbl	前期実績	58.10	66.07	69.85	-	-	64.06
		当期実績・前提	94.41^{*1}	103.78	100.00	90.00	-	97.05
原油CIF (JCC) ^{*3}	USD/bbl	前期実績	-	64.25	71.31	77.30	82.70	73.28
		当期実績・前提	-	101.55^{*1}	100.00	90.00	90.00	95.64
為替 ^{*3}	円/USD	前期実績	-	108.43	109.96	111.69	114.52	111.20
		当期実績・前提	-	122.50^{*1}	120.00	120.00	120.00	120.75

*1 実績値

*2 前期はJapan Canada Oil Sands Limitedによる希釈ピチューメン販売（2021年1～8月の8か月分）にかかるWTI平均値

*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

5. 23年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	23/3月期 2Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	WTI 2Q : USD 103.78/bbl 3Q : USD 100.00/bbl 4Q : USD 90.00/bbl 原油CIF価格 2Q : USD 100.00/bbl 3Q-4Q : USD 90.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	50	40	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	120.00円/USD	1 円/USD の円安	380	220	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

【前提】

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・ 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

6. 主要事業概況① 今期1Q以降の概況と主な動き

E&P分野

- 国内：北海道、秋田県、山形県、新潟県の油ガス田計10か所で原油・天然ガスを生産中／既存油ガス田の増産施策の検討継続
 - ・ 新潟県片貝ガス田の追加開発を実施中
 - ・ カーボンニュートラル対応に向けた、油ガス田操業でのGHG排出量削減策の検討や、CO₂貯留可能量調査なども実施
- 海外：原油・天然ガス開発生産プロジェクトに参画中／新規権益獲得検討継続
- ✓ JOGMEC公募事業「女川タイトオイル層を対象とした酸処理に関する共同研究事業」事業実施者に採択（4月）
- ✓ アメリカ・タイトオイル開発への投資を拡大（坑井権益追加取得）（5月）
- ✓ 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発1坑目掘削開始（7月）

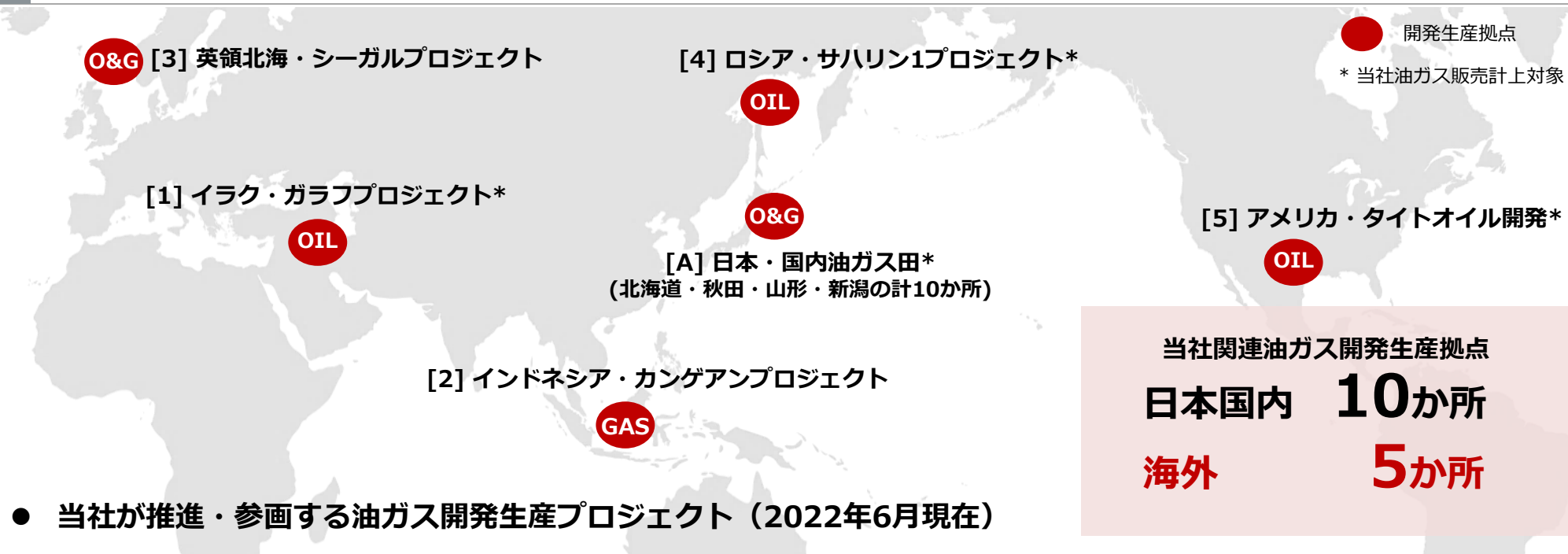
I/U分野

- 国内ガス供給：当社国内ガス供給ネットワークを通じた天然ガス・LNGの安定供給／燃料転換需要への対応を含むガス拡販対応継続中
 - ・ 相馬LNG基地（福島県相馬郡新地町）では、隣接する福島天然ガス発電所からの発電燃料LNG気化送出受託業務を実施中
- 海外LNG供給インフラ：天然ガス需要拡大が想定される東南アジアを中心に、LNG基地など供給インフラ開発・運用プロジェクトへの参入を検討
- 電力：稼働中発電所からの環境負荷の低い電力の安定供給／再生エネルギー開発・投資案件参画中および新規案件検討中
- ✓ 愛媛県・大洲バイオマス発電所着工（6月）
- ✓ 北海道・網走バイオマス発電所2&3号機プロジェクトに係るグリーンローン契約を締結（6月）
- ✓ 山口県・長府バイオマス発電所着工（7月）

CN分野

- CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO₂の回収・貯留）/CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage：CO₂の回収・有効活用・貯留）の早期の実用化と事業化に向けた検討
- CCS/CCUSとの連携が期待できる、カーボンニュートラルに関する協業や参入の検討
 - ・ カーボンリサイクル実現など、CCS/CCUSとの組み合わせによる地域や産業間の連携などを視野
- ✓ 「Global CCS Institute」に加盟（5月）／「CCS+ Initiative」に加盟（6月）
- ✓ 新潟東港エリアにおけるハブ&クラスター型CCUS事業の実現可能性調査をJOGMEC公募事業として受託（5月）
- ✓ ペトロナスと推進するマレーシアにおけるCCS実現可能性に係る共同スタディへ、新たに日揮グローバル(株)と川崎汽船(株)が参加（7月）

6. 主要事業概況② E&P分野



● 当社が推進・参画する油ガス開發生産プロジェクト（2022年6月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産中／追加開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産中／追加開発中	12.8万bbl*2
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	天然ガス	生産中	399万m ³ （2.4万boe）
3	英領北海・シーガルプロジェクト（Neptune E&P UK Limited）	15%（15%）	原油・天然ガス	開発中	-
4	ロシア・サハリン1プロジェクト（Exxon Neftegas Ltd.*3）	30%（4.59%）	原油	生産・開発中	非開示
5	アメリカ・タイトオイル開発（Marathon Oil Corporation、EOG Resources Inc.ほか）	権益により異なる	原油	生産・開発中	非開示

*1: 2022年度1Q（海外プロジェクトは2022年1～3月）の日量生産量平均。

*2: 2022年4～6月の日量生産量平均。

*3: 2022年3月1日（現地時間）にオペレーターExxon Neftegas Limitedの親会社であるExxon Mobilが撤退方針を発表。

6. 主要事業概況③ I/U分野 – ガス供給

JAPEXの国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

● 国内ガス供給

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、鉄道タンクコンテナ、内航船）
- 当社ガス導管・LNG基地の第三者利用・受託業務など

● 国内ガス供給の多様化対応

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

● LNG調達

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

● 海外LNG供給インフラ

- ガス需要が旺盛な東南アジアを中心とする、新規案件立ち上げなど
 - ✓ 事業化検討中：ベトナム北部LNG基地プロジェクト



6. 主要事業概況④ I/U分野 – 電力

拠点合計 **7**か所 出力合計 **1,389,550kW**
 うち再エネ **6**か所 うち再エネ **209,550kW**

*出力合計値はGross

● 当社が開発・運営に参画する発電所（2022年7月末現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	建設中
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	開発中
5	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
6	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)

[1] 網走バイオマス発電所 **BIO**
2号機・3号機

[2] JAPEX北海道事業所
メガソーラー* **PV**

[3] 勇払太陽光発電所 **PV**



LNG [A] 福島天然ガス発電所*



[5] 大洲バイオマス発電所 **BIO**

[4] 田原バイオマス発電所 **BIO**

BIO

[6] 長府バイオマス発電所

● ガス発電所

■ 再エネ発電所

* 当社電力販売対象

6. 主要事業概況⑤ CN分野

● ハブ&クラスター型CCS/CCUSの実現に必要な要素

技術の検証・確立

- CO₂貯留適地・貯留可能量調査
- CO₂回収・輸送技術
- CO₂圧入・貯留技術
 - ・ 貯留CO₂モニタリング技術を含む

+

企業間・業種横断的な連携

- CO₂排出元からの回収
- CO₂輸送ネットワーク構築
 - ・ 利活用先への輸送と余剰分回収
- 余剰CO₂の地中貯留

+

法制度などの検討・整備

- CO₂地中貯留に関する法制度
- CO₂輸送インフラのあり方 (公共性)
- CO₂取引制度
 - ・ 海外とのCO₂取引の連携も視野

● 当社が推進・参加する主なCCS/CCUS関連の取り組み (2022年7月末現在)

国内 2030年度までにハブ&クラスター型モデル事業確立

- 当社における検討
 - ✓ 当社油ガス田などのCO₂貯留可能量調査
 - ✓ 当社油ガス田操業における随伴CO₂の再圧入検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ 北海道・苫小牧エリアにおける産業間連携を活用したカーボンリサイクル事業の実現可能性調査 (NEDO受託事業としてデロイト トーマツコンサルティング(同)との共同実施)
 - ✓ 新潟エリアにおけるCO₂を有効活用した事業の可能性検討 (三菱ガス化学(株)との共同検討)
 - ✓ 新潟東港エリアにおけるCCUSハブ&クラスター事業実現可能性調査実施 (令和4年度JOGMEC受託事業)

海外 制度先進国案件での早期収益貢献&新興国検討案件

- 当社における検討
 - ✓ 北米やヨーロッパなどの制度先進国における、CCS/CCUS案件への参画検討
- 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討
 - ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討 (プラタミナグループおよびレミガスとの共同実施)
 - ✓ マレーシアにおけるCCS共同スタディ：CO₂地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討などを実施 (ペトロナス、ならびに日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)との共同実施、日本3社コンソは令和4年資源エネルギー庁補助金事業に採択)

共通 技術その他関連検討

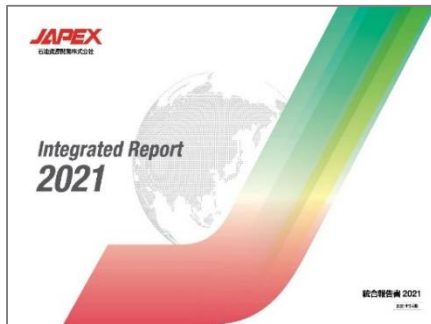
- ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討 (JFEエンジニアリング(株)との共同検討)

7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

統合報告書

◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2021、2021年9月発行）は、
以下のリンクから直接ご覧いただけます

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_IR2021_j.pdf

開示資料アーカイブ

- ◆ 決算短信
- ◆ 決算説明資料
- ◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

業績情報など

- ◆ 業績ハイライト（過去5期分）
※過去10年分CSVデータダウンロード
- ◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

8. 用語集

■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

JAPEX

石油資源開発株式会社